

C-1 3年国語科学習指導案

- 1 単元名 大事なことをたしかめよう 「すがたをかえる大豆」「食べ物はかせになろう」
- 2 目 標
 - ・食べ物について書かれた読み物や図鑑などを興味を持って読もうとしている。
 - ・伝えたいことが明確になるように、段落相互の関係に注意して書こうとしている。
(国語への関心・意欲・態度)
 - ・身近な食べ物について、情報を収集したり取捨選択したりしながら、段落に分けて文章にまとめることができる。
(書くこと・イ)
 - ・中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考え、大豆の食べる工夫を正しく読み取ることができる。
(読むこと・イオ)
 - ・文章全体における段落の役割を理解する。(言語についての知識・理解・技能・オ(イ))
- 3 指導にあたって

教材観 この単元は、説明文教材を段落やキーワードなどに注意しながら読み取る学習と本を探し調べる学習と集めた情報を目的に従って文章にまとめる学習から構成されている。「すがたをかえる大豆」は、身の回りにあふれている大豆やその加工食品について書かれたもので、内容的には、児童にも身近なものである。大豆の加工食品は、見ただけでは大豆からできているとは思われないものも多く、その意味では、児童に意外性を持って知ることの喜びを与える内容である。一方、説明文教材としてみた場合には、段落構成や中心文やキーワードも明確で要約などの学習にも適しており、後の書く活動のよい参考例となる。「ありの行列」は、仮説－検証型の文章構成だが、「すがたをかえる大豆」は解説型の教材で好対照となっているので、解説型の文章の特徴を学ぶことが出来る。「食べ物はかせになろう」は、「すがたをかえる大豆」の説明文の読み取りをしっかりと行い疑問や興味を持った事柄について様々な本を調べ集めた情報を、教材文の文章構成を参考にして文章にまとめるようになっている。

児童観 朝の一斉読書では、どの児童も集中して読書をし、本係の読み聞かせも集中して聞いている。読むことについて、説明文教材「ありの行列」では、キーワードや中心文を手がかりにして段落の内容を読み取り、文章構成を把握することを学習した。文章構成やキーワードや中心文を意識するようになったが、内容の読み取りに結びついていない児童もまだいる。書くことについて、「おもしろいもの、見つけた」では、新しい友だちが増えたこともあり、大変興味深く取り組み、書く事柄を積極的に集めた。その後、感じたことや具体的な事実を詳しく分かりやすく書く学習は、短くまとまってしまう進歩が見られなかった。

指導観 今年度2つ目の説明文教材なので、段落構成や中心文やキーワードを手がかりにして読み取る力を伸ばしていきたい。そのときに、形式的な指導に陥らないように、実物を見せるなどして「すがたをかえる大豆」の意外性について、大豆をおいしく食べる工夫を読み取るように指導していきたい。説明文の指導は、段落の要点を抜き出したり、意味のまとまりごとに小見出しをつけたりするなど、内容を整理することは大切なことだが、その際、内容や意味だけを追うのではなく、接続語・文末表現・繰り返し語句などの表現の工夫を押さえていき、自分たちで身近な食べ物について本で調べたことを書くことにつなげるようにしたい。
(研究テーマ「確かな学力を身につけ、主体的に取り組む子をめざして」との関わり)

「すがたをかえる大豆」のつかむ段階では、前時のキーワードや中心文から本時の課題へとつないでいく。また、児童が意欲的に取り組むように課題や板書を工夫して、見通しを持って取り組めるようにする。考える段階では、キーワードや中心文を大いに使って、自分の考えをワークシートにまとめるようにする。友だちのよい考えをつけ加えながら聞くことができるようにしたい。まとめる段階では、本時の学習のまとめや友だちのよいところや自分の考えの変化も書くようにする。

4 指導計画と評価計画（総時数17時間）

次時	目 標	主な学習活動	国語への関心・意欲・態度	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	
一	1	・大豆について知っていることを出し合ったり、全文を読んだりして、学習への関心を持つことができる。	・大豆について話し合い、全文を音読する。	・教材文に興味・関心を持って読もうとしている。			
	2	・教材文を読み、感想を出し合うことによって本文の大体の内容をつかみ、読みのめあてを持つことができる。	・感想を出し合っ て、学習計画を立てる。	・身の回りにある食べ物にどんな秘密があるのか読んだり書いたりしようとしている。			
二 (本時)	1	・「すがたをかえる大豆」を読み、学習のめあてがわかる。	・形式段落に番号を付け、第一・二段落を読み、本教材文の学習のめあてを確認する。			・大豆のことについて読み取っている。	
	2	・大豆をおいしく食べる工夫と食品を見つけ整理する。	・大豆をおいしく食べる工夫と食品を書き出すことができる。			・大豆をおいしく食べる工夫を読み取っている。	
	3	・キーワードや中心文を手がかりにしておいしく食べる工夫を読み取ることができる。	・大豆に手を加えるときの言葉を書き出し、意味を理解する。			・大豆がどのように姿を変えているのか読み取っている。	
	4	・文章全体を3つのまとまりに分けることができる。	・全文を3つに分ける。			・「はじめ」「中」「終わり」に分けている。	・段落相互の関係を理解している。
	5	・解説型の文章構造になっていることに気づくことができる。	・それぞれの段落の小見出しをつき、文章の書き方について考える。			・初めに説明するものを提示してから提示物についての説明をする文章構成に気づいている。	
	1	・「食べ物はかせになろう」を読んで本にまとめるまでの流れを理解することができる。	・「食べ物はかせになろう」を読み、調べたことを文章にまとめるまでの流れをつかむ。	・調べたいことについて進んで調べようとしている。			
	2	・調べたい食べ物を決め、学習計画を立てることができる。	・調べたい食べ物を決め、学習計画を立てる。	・調べたい食べ物と調べる事柄を決め、学習			

			計画を立てている。			
3	・本での調べ方を理解することができる。	・本での調べ方を知る。	本での調べ方を理解しようとしている。			
4	・目的にあった図書資料を探し、調べる事柄を選び出すことができる。	・目的にあった図書資料を探し、その中から調べたい事柄を選び出す。		・調べたい事柄を意識しながら読んでいる。		
5	・分かったことを情報カード1枚に1つの情報を書き添えていくことができる。	・分かったことを情報カードに書く。		・大事なことを情報カードに書いている。		
6	・集めた情報を関連づけ、いくつかに分けてまとめる。	・情報カードを整理する。	・情報カードを関連づけてまとめ、まとまりに分けようとしている。			
7	・まとまりごとに文章を書くことができる。	・それぞれの情報カードのまとまりごとに文章を書く。		・調べたことを事柄ごとに段落に分けて書いている。		
8	・情報のまとまりをもとに段落相互関係を考え文章を書くことができる。	・清書をする。		・段落ごとの情報のまとまりをもとに、段落相互関係を分かりやすくしながら文章を書いている。		・接続語を使って、段落相互の関係が分かりやすく書いている。
9	・本づくりに必要なことが分かり、表紙や前書き目次・奥付けを書くことができる。	・文章をまとめて本にする。		・本づくりに必要なことを抜かさず書いている。		
10	・文章の内容や書き方に目を向けて読み合うことができる。	・本を読み合い、互いに評価し合う。		・完成した文章の段落の作り方や事柄の並べ方に注目しながら、友だちの文章に対して感想を書いている。		

三

5 本時の学習（二次中の2時）

- (1) ねらい ・大豆をおいしく食べる工夫と食品を見つけ整理する。
- (2) 評価規準 **読**・大豆をおいしく食べる工夫を読み取っている。
- (3) 準備 食品の絵カード 語句カード ワークシート
- (4) 展開

過程	学習活動	配時	児童の思考の流れ	☆支援 □評価と方法
つかむ	1 前時を振り返り課題をつかむ	5	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大豆はいろいろな食品に姿を変えている。 ○ 固い大豆をいろいろ手を加えて、おいしく食べる工夫をしている。 ○ いくつかのおいしく食べる工夫が書いてあるかな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">大豆にいろいろ手をくわえておいしく食べる工夫を見つけよう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の読み取りから、本時の課題へとつなげていく。
考える	2 大豆のおいしく食べる工夫を読み取る。(ワークシートに書く。)	15	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大豆のおいしく食べる工夫を見つけよう。 <ul style="list-style-type: none"> ① 大豆をその形のままいっぴりにたりやわらかくおいしくするくふう ② 大豆をこなにひいて食べるくふう ③ 大豆にふくまれる大切な栄養だけを取り出してちがう食品にするくふう ④ 目に見えない小さな生物の力をかりてちがう食品にするくふう ⑤ とり入れる時期や育て方をくふう 	<ul style="list-style-type: none"> ・キーワード（くふう）に着目して、おいしく食べる工夫が5つに分けて書いてあることをとらえるようにする。
深める	3 読み取ったことをに話し合う。	20	<ul style="list-style-type: none"> ○ 調べたことを発表しよう。 いちばん分かりやすいのは ① 大豆をその形のままいっぴりにたりやわらかくおいしくするくふう…いり豆 に豆 次に ② こなにひいて食べるくふう…きなこ また ③ 大豆にふくまれる大切なえいようだけを取り出してちがう食品にするくふう…とうふ さらに ④ 目に見えない小さな生物の力をかりてちがう食品にするくふう… なっとう みそ しょうゆ これらのほかに ⑤ とり入れる時期や育て方をくふう…えだ豆 もやし ○ 工夫してできた食品は何か。 <ul style="list-style-type: none"> ①いり豆 煮豆 ②きなこ ③豆腐 ④納豆 味噌 しょう油 ⑤枝豆 もやし 	<ul style="list-style-type: none"> 読 大豆をおいしく食べる工夫を読み取っている。(観察・発言・ワークシート) ☆第3段落に書かれている工夫について一緒に考え、以降は自力で見つけるようにする。 ☆どのようにして、5つの工夫を見つけたのかわけを言えるようにする。 ・書き出しの言葉やキーワードから5つの工夫を見つけられることを押さえる。 ・食品の絵カードを使って5つの工夫を確かめる。
まとめる	4 本時のふり返りをする。	5	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習のふり返りをしよう。 <div style="border: 3px double black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> いったり煮たり、粉にひいたり、大切な栄養だけを取り出してちがう食品にしたり、小さな生物の力でちがう食品にしたり、取り入れる時期や育て方を変えたりと、いろいろ手をくわえて、おいしく食べるくふうをしているんだ。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・次時は、①～⑤の大豆に手を加えるときの言葉を手がかりにしておいしく食べる工夫を読み取る。

